

連結流動性カバレッジ比率に関する事項

本邦では平成27年3月末より、バーゼルⅢの流動性規制である「流動性カバレッジ比率(以下、「LCR(Liquidity Coverage Ratio)」という)」が導入されています。当行は国際統一基準を適用の上、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその経営の健全性を判断するための基準として定める流動性に係る健全性を判断するための基準」(平成26年金融庁告示第60号。以下、「流動性カバレッジ比率告示」という)に定められた算式に則り、当行グループベースについて算出しております。

■連結流動性カバレッジ比率に関する定性的開示事項

1.時系列における連結流動性カバレッジ比率の変動に関する事項

当行グループにおける平成29年度第3四半期及び第4四半期のLCRは、次頁の「連結流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項」に記載の通り、平成27年3月末の規制適用以降、大きく変動することなく安定的に推移しております。

2.連結流動性カバレッジ比率の水準の評価に関する事項

LCRの最低水準は、平成30年は90%に設定されており、平成31年以降は100%となる旨が流動性カバレッジ比率告示に定められております。当行グループのLCRは、平成30年及び平成31年以降の最低水準をそれぞれ上回っており、特段の問題はないものと考えております。なお、今後のLCRの見通しが開示された比率と大きく乖離することは想定しておりません。また、LCRの実績値は当初の見通しと大きく異なっておりません。

3.算入可能適格流動資産の合計額の内容に関する事項

当行グループが計上している算入可能適格流動資産の通貨又は種類等の構成や所在地に著しい変動はありません。また、主要な通貨(通貨建て負債合計額が当行グループの負債合計額の5%以上を占める通貨)において、算入可能適格流動資産の合計額と純資金流出額の間に着しい通貨のミスマッチはありません。

4.その他連結流動性カバレッジ比率に関する事項

当行グループのLCRは、流動性カバレッジ比率告示第29条に定める「適格オペレーショナル預金に係る特例」及び同告示第38条に定める「シナリオ法による時価変動時所要追加担保額」を適用しておりません。また、同告示第60条に定める「その他契約に基づく資金流出額」には、「小規模連結子法人に係る資金流出額」等を計上しております。

■連結流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項

(単位：百万円、%、件)

項目		平成29年度第3四半期		平成29年度第4四半期	
適格流動資産(1)					
1	適格流動資産の合計額	59,573,784		60,267,923	
資金流出額(2)		資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額	資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額
2	リテール無担保資金調達に係る資金流出額	52,338,456	4,061,878	50,370,304	3,923,663
3	うち、安定預金の額	16,760,437	503,007	15,919,657	477,780
4	うち、準安定預金の額	35,578,018	3,558,871	34,450,647	3,445,883
5	ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	64,103,295	32,552,731	64,883,035	33,442,407
6	うち、適格オペレーショナル預金の額	—	—	—	—
7	うち、適格オペレーショナル預金及び負債性有価証券以外のホールセール無担保資金調達に係る資金の額	58,638,500	27,087,936	58,650,200	27,209,572
8	うち、負債性有価証券の額	5,464,795	5,464,795	6,232,835	6,232,835
9	有担保資金調達等に係る資金流出額		56,905		130,521
10	デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	21,480,084	7,431,138	21,164,500	7,217,647
11	うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	1,249,995	1,249,995	1,233,974	1,233,974
12	うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	470,785	470,785	448,984	448,984
13	うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	19,759,304	5,710,359	19,481,542	5,534,689
14	資金提供義務に基づく資金流出額等	5,566,046	4,330,546	5,858,374	4,348,487
15	偶発事象に係る資金流出額	65,806,792	1,146,741	66,264,951	1,133,919
16	資金流出合計額		49,579,938		50,196,645
資金流入額(3)		資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額	資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額
17	有担保資金運用等に係る資金流入額	1,892,220	282,732	2,797,117	505,033
18	貸付金等の回収に係る資金流入額	3,783,298	2,647,021	3,458,284	2,498,076
19	その他資金流入額	2,420,676	1,169,136	2,544,615	1,334,015
20	資金流入合計額	8,096,194	4,098,889	8,800,017	4,337,123
連結流動性カバレッジ比率(4)					
21	算入可能適格流動資産の合計額		59,573,784		60,267,923
22	純資金流出額		45,481,049		45,859,521
23	連結流動性カバレッジ比率		130.9%		131.4%
24	平均値計算用データ数		62件		59件

(注)1.平成27年3月末の規制適用以降のデータは、三井住友フィナンシャルグループのホームページに掲載しております。

(http://www.smfg.co.jp/investor/financial/base_3.html)

2.平成27年金融庁告示第7号に基づき、日次平均の値を算出しております。

なお、取引先の属性情報や連結子会社等の一部データについては、月次又は四半期次データを使用しております。

■適格流動資産の内訳

(単位：百万円)

項目		平成29年度第3四半期	平成29年度第4四半期
1	現金預け金	50,708,289	51,275,367
2	有価証券	8,865,496	8,992,556
3	うち、国債等	6,451,734	6,586,521
4	うち、地方債等	136,284	126,716
5	うち、その他債券	653,129	660,766
6	うち、株式	1,624,349	1,618,553
7	適格流動資産の合計額	59,573,784	60,267,923

(注)上記金額は、バーゼルⅢの流動性規制における適格流動資産の金額であり、財務上の金額と一致するものではありません。

なお、バーゼルⅢの流動性規制における算入可能率を乗じた後の金額を記載しております。